

| | |
|------------|---|
| 授業科目名 | 税財政と法 Taxation – Law and Policy – |
| 授業科目群 | 展開・先端科目 |
| 標準学年 | 2年次 |
| 必修・選択の区別 | 選択 |
| 開講学期 | 前期 |
| 開講曜日・時限 | 金曜日・5時限 |
| 単位数 | 2単位 |
| 担当教員名 | 田中晶国(Tanaka Masakuni) |
| 授業の目的 | 所得税法・法人税法を中心に租税法に関する基礎的知識を習得する。 |
| 履修条件 | 特になし。なお、民法・会社法・行政法に関する基礎的知識を前提とする。 |
| 到達目標 | カリキュラムマップ、到達目標科目対応表及び学修ロードマップを参照のこと。 |
| 授業の概要 | 所得税法・法人税法ならびに租税手続法に関する講義ならびに演習問題の質疑応答を行う。 This course examines tax law. |
| 授業計画 | 第1回 憲法と租税法・租税法律主義 第2回 租税公平主義・租税法の解釈・適用 第3回 課税要件総論1 第4回 課税要件総論2 第5回 所得税法 総論・所得種類の諸問題1 第6回 所得税法 所得種類の諸問題2 第7回 所得税法 所得種類の諸問題3 第8回 所得税法 所得種類の諸問題4 第9回 法人税法 総論・公正処理基準 第10回 法人税法 無償取引・寄附金 第11回 年度帰属 第12回 租税手続法 第13回 総合問題1 第14回 総合問題2 第15回 総合問題3 |
| 授業の進め方 | 質疑応答を中心として適宜講義を交える。 |
| 教科書及び参考図書等 | 特に指定しないが、所得税法・法人税法及び租税手続法に関する記述のある基本書及び租税法の掲載された六法を準備すること。一例としては下記のような書籍が有益である。 【教科書】 佐藤英明「スタンダード所得税法 第2版」(弘文堂、2016年) 岡村忠生・酒井貴子・田中晶国『租税法』(有斐閣、2017年) 【参考書】 中里実・増井良啓編『租税法判例六法[第3版]』(有斐閣、2017年) 中里実ほか編『租税判例百選[第6版]』(有斐閣、2016年) |
| 試験・成績評価等 | 授業への参加度(出席及び発言)30%、試験を70%として評価を行う。 |
| 事前学習 | 各回の範囲に関する該当範囲について基本書を読み予習をした上で、事前に配布する問題を検討する。 |

| | |
|---------|--|
| 課題レポート等 | 予定なし |
| オフィスアワー | 授業終了後に質問を受け付ける。その他メール等でアポイントメントをとれば対応する。 |
| その他 | 特になし。 |